



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日
東

上場会社名 サンワテクノ株式会社 上場取引所
 コード番号 8137 URL <https://www.sunwa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 晶広
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 的場 孝成 TEL 03-5202-4011
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月8日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	148,329	6.3	4,058	15.7	4,776	25.2	3,265	33.7
2025年3月期	139,581	△16.0	3,507	△43.6	3,815	△42.5	2,443	△51.2

（注）包括利益 2026年3月期 4,721百万円（88.4％） 2025年3月期 2,506百万円（△58.7％）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	212.35	—	6.4	4.9	2.7
2025年3月期	161.15	—	5.0	4.0	2.5

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	101,386	53,124	52.1	3,397.99
2025年3月期	93,078	49,112	52.8	3,235.39

（参考）自己資本 2026年3月期 52,856百万円 2025年3月期 49,112百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	3,761	△463	△2,885	24,089
2025年3月期	9,095	△389	△5,222	22,869

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	50.00	—	70.00	120.00	1,821	74.5	3.7
2026年3月期	—	60.00	—	62.00	122.00	1,877	57.5	3.7
2027年3月期（予想）	—	65.00	—	65.00	130.00		48.1	

（注）2025年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 設立75周年記念配当 10円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	82,300	18.6	2,600	77.5	2,700	52.7	1,900	57.4	122.15
通期	173,000	16.6	6,000	47.8	6,200	29.8	4,200	28.6	270.01

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更：有
 新規 3社 (社名) 株式会社エムテック、株式会社アレックスエンジニアリング及び
 SUN-WATECHNOS(UK) Connect Solutions Ltd.
 (注) 詳細は、添付資料12ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (連結範囲の重要な変更に関する注記)」をご覧ください。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	16,044,000株	2025年3月期	16,044,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	488,901株	2025年3月期	864,164株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	15,378,818株	2025年3月期	15,162,807株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	114,260	12.3	3,065	41.2	3,869	42.8	2,691	56.0
2025年3月期	101,703	△11.2	2,171	△40.5	2,710	△42.5	1,725	△54.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	174.99	—
2025年3月期	113.77	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2026年3月期	74,866	35,624	35,624	32,815	47.6	2,290.20	2,161.77	
2025年3月期	68,293	32,815	32,815	32,815	48.1	2,161.77	2,161.77	

(参考) 自己資本 2026年3月期 35,624百万円 2025年3月期 32,815百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

2. 当社は、2026年5月19日(火)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
(1) 役員の異動	16
(2) 仕入、受注及び販売の状況	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、エネルギー・資源価格の高止まりが続く中、インバウンド需要の回復や企業の設備投資の増加が見られ、回復基調で推移しました。世界経済については、米国の通商・関税政策や地政学的リスクの不確実性が継続したものの、A I の普及・発展を背景としたデータセンターや電力インフラ関連の投資が拡大し、景気を下支えする要因となりました。

当社グループが関連する産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界においては、市況低迷による設備投資の減少や手配調整が一巡したことに加え、A I 関連の設備投資の増加を背景に、各業界からの需要は堅調に推移しました。一方で、人手不足の深刻化を背景とした省力化・効率化投資も継続しており、これらの投資需要は今後も底堅く推移するものと見込まれます。

このような環境の中、当連結会計年度の業績は、売上高1,483億29百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益40億58百万円（前年同期比15.7%増）、経常利益47億76百万円（前年同期比25.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益32億65百万円（前年同期比33.7%増）となりました。

部門別の業績は次のとおりです。

なお、当社グループでは当連結会計年度より事業区分を見直し、新たに「電子コンポーネント部門」「制御デバイス部門」「産業用P C部門」「F Aソリューション部門」の4部門としております。

[電子コンポーネント部門]

電子コンポーネント部門では、主要顧客の生産増加を背景に、自動車関連業界向けの光学ユニットやF A業界向け電子部品の販売が増加しました。また、新規案件の獲得により、社会インフラ業界向け液晶製品の販売が増加しました。

この結果、当部門の売上高は891億46百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

[制御デバイス部門]

制御デバイス部門では、データセンター関連市場の好調を背景に、マウンター業界向けモータの販売が増加しました。また、新規案件の獲得により、太陽光関連業界向け蓄電池用パワーコンディショナーの販売が増加しました。一方、中国における太陽光関連業界の設備投資減少の影響により、太陽光関連業界向けサーボモータ及びスカラロボットの販売は減少しました。

この結果、当部門の売上高は341億75百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

[産業用P C部門]

産業用P C部門では、半導体業界における設備投資の活発化を背景に、半導体製造装置業界向け産業用P Cの販売が増加しました。また、中国の自動車関連での設備投資が好調に推移したことから、F A業界向けボードコンピュータの販売も増加しました。

この結果、当部門の売上高は85億77百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

[F Aソリューション部門]

F Aソリューション部門では、半導体業界における設備投資の活発化を背景に、半導体製造装置業界向け検査装置及び搬送設備の販売が増加しました。

この結果、当部門の売上高は164億29百万円（前年同期比16.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

国内では、半導体業界における設備投資の活発化を背景に、半導体製造装置業界向け産業用P C、半導体関連業界向け検査装置及び搬送設備の販売が増加しました。また、A I サーバー市場の好調を背景にマウンター業界向けモータ、主要顧客の生産増加を背景にF A業界向け電子部品の販売が増加しました。

この結果、売上高1,143億65百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益29億12百万円（前年同期比34.0%増）となりました。

② アジア

アジア地域では、半導体業界における設備投資の活発化を背景に、半導体製造装置業界向けの電子部品及び産業用P Cの販売が増加しました。また、主要顧客の生産増加を背景に、F A業界向けの電子部品及びボードコンピュータの販売が増加しました。一方、中国における太陽光関連業界の設備投資減少の影響により、太陽光関連業界向けサーボモータ及びスカラロボットの販売は減少しました。

この結果、売上高462億79百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益10億12百万円（前年同期比10%減）となりました。

③ 欧米

欧米では、半導体業界における設備投資の活発化を背景に、半導体製造装置業界向けのケーブルの販売が増加しました。一方、市況悪化により設備投資が減少し、自動車関連業界向けの産業用ロボットの販売が減少しました。この結果、売上高64億37百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益50百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

④ その他

売上高8億54百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益32百万円（前年同期比192.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は1,013億86百万円となり前連結会計年度末に比べ83億7百万円増加しました。現金及び預金、売掛金及び契約資産、投資有価証券の増加が主な要因であります。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は482億62百万円となり前連結会計年度末に比べ42億96百万円増加しました。支払手形及び買掛金の増加が主な要因であります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は531億24百万円となり前連結会計年度末に比べ40億11百万円増加しました。利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加が主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ12億20百万円増加し、当連結会計年度末には240億89百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は37億61百万円（前年同期比58.6%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益（46億92百万円）、仕入債務の増加（35億44百万円）等による増加がある一方で、売上債権の増加（20億10百万円）、その他の資産の増加（26億41百万円）、法人税等の支払（10億25百万円）等により一部減少したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億63百万円（前年同期比18.9%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（1億29百万円）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は28億85百万円（前年同期比44.7%減）となりました。これは主に、短期借入金の純減額（7億58百万円）、配当金の支払（19億76百万円）等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	40.9	41.7	48.6	52.8	52.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	22.4	28.2	36.6	34.6	47.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	984.8	—	284.1	92.9	206.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	17.0	—	22.8	50.2	21.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、米国における通商・関税政策や米中関係の動向、地政学リスクの高まりなどを背景に、不透明な状況が続くものと見込まれます。

一方で、人工知能（A I）関連分野を中心としたデジタル投資需要の拡大に加え、脱炭素社会の実現に向けた環境・エネルギー分野への投資、人手不足を背景とした省力化・自動化投資は、底堅く推移することが期待されます。

このような情勢のもと、当社グループでは、2026年3月期から2028年3月期までの3ヶ年を対象とする第12次中期経営計画「SGP2027（SUN-WA Growth Plan 2027）」（※1）の2年目を迎えております。最終年度となる2028年3月期に営業利益80億円超、ROE10.0%超を目標とし、PBR1.0倍超を目指しております。

2027年3月期の連結業績予想は以下のとおりです。

売上高	1,730億0百万円
営業利益	60億0百万円
経常利益	62億0百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	42億0百万円

本資料に記載されている連結業績予想などの将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

※「SGP2027」の詳細は、以下のURLからご覧いただくことができます。

<https://www.sunwa.co.jp/ir/management/strategy/>

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと認識しております。持続的な成長と企業価値の向上のための積極的な事業展開や様々なリスクに備えるための財務健全性とのバランスを考慮したうえで、安定配当を維持しながら中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。

株主・投資家の皆様へ安定的に株主還元を行い、企業の成長に応じて増配を行う姿勢をより明確にする為、株主還元の指標はDOE（連結株主資本配当率）としております。毎年の配当金につきましては、DOE4.0%以上を目途に、継続的かつ安定的な配当を行うことを目標に実施してまいります。

当期は、A I関連の設備投資の増加を背景に、各業界からの需要が堅調に推移したことから、各段階利益はいずれも前年実績及び当期業績予想を上回る結果となりました。こうした状況を踏まえ、業績の進展及び財務状況を総合的に勘案し、株主の皆様への利益還元をより一層充実させる観点から、期末配当において1株当たり2円の増配を実施し、1株当たり62円といたしました。これにより、当期の利益配当金は中間配当（1株当たり60円）と合わせ、年間配当122円となります。当社は、今後もDOE4.0%以上を目安とした配当方針のもと、成長投資及び株主還元のバランスを図りながら、業績に応じた増配を継続的に検討してまいります。

自己株式の取得につきましても、株主還元や資本効率向上のため、時期及び財政状況に応じて実施することといたします。内部留保につきましては、中長期的な視点に立ち、事業環境の急激な変動に対応出来る企業体質の確立と、中長期的な成長に向けた重点分野への投資を中心に経営基盤強化のために有効活用し、将来の業績向上を通じて利益還元を行ってまいります。

また、当社は株主優待制度を導入しております。株主の皆様へ感謝の意を表すとともに、当社の認知度向上及び当社株式への魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただくことを目的としております。3月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された100株（1単元）以上を保有されている株主様に、保有株式数に応じて優待品（デジタルギフト）を進呈いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,371	24,591
受取手形、売掛金及び契約資産	36,091	38,018
電子記録債権	7,965	8,182
商品	12,953	12,636
仕掛品	2	39
その他	2,617	5,373
貸倒引当金	△125	△138
流動資産合計	82,875	88,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,382	1,848
減価償却累計額	△899	△1,266
建物及び構築物(純額)	483	581
土地	1,261	1,291
リース資産	722	822
減価償却累計額	△414	△534
リース資産(純額)	308	288
その他	766	1,262
減価償却累計額	△627	△1,117
その他(純額)	138	145
有形固定資産合計	2,192	2,306
無形固定資産		
のれん	—	582
その他	153	140
無形固定資産合計	153	722
投資その他の資産		
投資有価証券	6,399	8,061
繰延税金資産	87	144
その他	1,521	1,616
貸倒引当金	△150	△169
投資その他の資産合計	7,857	9,652
固定資産合計	10,203	12,682
資産合計	93,078	101,386

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,686	24,872
電子記録債務	11,368	8,998
短期借入金	5,447	4,751
リース債務	135	137
未払法人税等	406	796
未払費用	1,715	2,086
その他	1,373	1,565
流動負債合計	39,133	43,207
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
リース債務	198	172
繰延税金負債	649	1,197
資産除去債務	192	259
長期未払金	51	51
役員退職慰労引当金	152	64
退職給付に係る負債	588	309
固定負債合計	4,832	5,054
負債合計	43,966	48,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,727	3,727
資本剰余金	3,618	3,924
利益剰余金	35,915	37,204
自己株式	△1,557	△880
株主資本合計	41,703	43,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,912	4,040
為替換算調整勘定	4,496	4,839
その他の包括利益累計額合計	7,409	8,880
非支配株主持分	—	267
純資産合計	49,112	53,124
負債純資産合計	93,078	101,386

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	139,581	148,329
売上原価	120,432	127,450
売上総利益	19,148	20,879
販売費及び一般管理費	15,640	16,820
営業利益	3,507	4,058
営業外収益		
受取利息	82	199
受取配当金	147	160
仕入割引	56	65
受取家賃	150	150
為替差益	—	73
その他	198	304
営業外収益合計	636	953
営業外費用		
支払利息	182	173
売上債権売却損	33	46
為替差損	89	—
その他	24	15
営業外費用合計	328	236
経常利益	3,815	4,776
特別利益		
投資有価証券売却益	174	—
負ののれん発生益	—	19
特別利益合計	174	19
特別損失		
投資有価証券評価損	201	103
特別損失合計	201	103
税金等調整前当期純利益	3,788	4,692
法人税、住民税及び事業税	1,351	1,407
法人税等調整額	△6	34
法人税等合計	1,345	1,441
当期純利益	2,443	3,250
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	△15
親会社株主に帰属する当期純利益	2,443	3,265

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	2,443	3,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,632	1,128
為替換算調整勘定	1,695	342
その他の包括利益合計	62	1,471
包括利益	2,506	4,721
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,506	4,736
非支配株主に係る包括利益	—	△15

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,727	3,587	34,986	△1,680	40,620
当期変動額					
剰余金の配当			△1,514		△1,514
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,443		2,443
自己株式の取得				△0	△0
譲渡制限付株式報酬		31		123	154
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	31	928	122	1,082
当期末残高	3,727	3,618	35,915	△1,557	41,703

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	4,544	2,801	7,346	47,966
当期変動額				
剰余金の配当				△1,514
親会社株主に帰属する 当期純利益				2,443
自己株式の取得				△0
譲渡制限付株式報酬				154
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,632	1,695	62	62
当期変動額合計	△1,632	1,695	62	1,145
当期末残高	2,912	4,496	7,409	49,112

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,727	3,618	35,915	△1,557	41,703
当期変動額					
剰余金の配当			△1,976		△1,976
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,265		3,265
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		281		594	876
譲渡制限付株式報酬		24		81	106
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	306	1,289	676	2,272
当期末残高	3,727	3,924	37,204	△880	43,975

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,912	4,496	7,409	—	49,112
当期変動額					
剰余金の配当					△1,976
親会社株主に帰属する 当期純利益					3,265
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					876
譲渡制限付株式報酬					106
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,128	342	1,471	267	1,739
当期変動額合計	1,128	342	1,471	267	4,011
当期末残高	4,040	4,839	8,880	267	53,124

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,788	4,692
減価償却費	473	541
のれん償却額	—	64
負ののれん発生益	—	△19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△183	△286
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18	32
受取利息及び受取配当金	△230	△359
支払利息	182	173
為替差損益 (△は益)	△64	15
投資有価証券売却損益 (△は益)	△174	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	201	103
売上債権の増減額 (△は増加)	4,556	△2,010
棚卸資産の増減額 (△は増加)	5,173	357
その他の資産の増減額 (△は増加)	178	△2,641
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,477	3,544
未払消費税等の増減額 (△は減少)	156	△172
その他の負債の増減額 (△は減少)	339	672
その他	△10	△75
小計	10,927	4,632
利息及び配当金の受取額	192	327
利息の支払額	△181	△173
法人税等の支払額	△1,843	△1,025
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,095	3,761
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△54	△129
投資有価証券の取得による支出	△418	△12
投資有価証券の売却による収入	196	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△16
その他	△112	△304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△389	△463
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,548	△758
リース債務の返済による支出	△158	△151
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,514	△1,976
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,222	△2,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	787	446
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,271	859
現金及び現金同等物の期首残高	18,597	22,869
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	361
現金及び現金同等物の期末残高	22,869	24,089

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

当連結会計年度において、株式会社エムテックの株式を取得したことにより、同社及び同社の完全子会社である株式会社アレックスエンジニアリングを連結の範囲に含めております。

当連結会計年度において、HTK Europe Limitedの株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。なお、子会社化に伴い、HTK Europe Limitedは、SUN-WA TECHNOS(UK)Connect Solutions Ltd. に商号変更しております

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に電機部門・電子部門・機械部門の各取扱製品の販売を主たる業務としており、国内においては当社が、海外においてはアジア、欧米の各地域の現地法人がそれぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案しておりますが、経済的特徴・製品そして市場等の類似性を勘案し、地域ごとに集約して、「日本」、「アジア」及び「欧米」の3つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、電動機、制御装置、産業用ロボット、電子機器及び部品、産業用機械、工業計器及び計装類の販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 3	連結 財務諸表 計上額 (注) 4
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	90,843	42,278	5,631	138,753	827	139,581	—	139,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,871	4,602	742	16,216	35	16,251	△16,251	—
計	101,715	46,880	6,374	154,969	863	155,832	△16,251	139,581
セグメント利益	2,172	1,125	46	3,343	10	3,354	153	3,507
セグメント資産	68,313	27,129	2,716	98,158	935	99,094	△6,015	93,078
その他の項目								
減価償却費	341	79	48	469	4	473	—	473
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	77	50	136	264	5	270	—	270

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額153百万円には、セグメント間取引消去26百万円及び棚卸資産の調整額126百万円が含まれております。

3. セグメント資産の調整額△6,015百万円は、セグメント間債権・債務の相殺消去等であります。

4. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2, 3	連結 財務諸表 計上額 (注) 4
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	101,705	40,005	5,788	147,499	829	148,329	—	148,329
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,659	6,274	649	19,583	24	19,608	△19,608	—
計	114,365	46,279	6,437	167,083	854	167,937	△19,608	148,329
セグメント利益	2,912	1,012	50	3,974	32	4,006	52	4,058
セグメント資産	75,098	29,499	2,827	107,425	1,040	108,466	△7,080	101,386
その他の項目								
減価償却費	404	79	53	537	4	541	—	541
のれん償却額	64	—	—	64	—	64	—	64
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	842	45	112	1,000	1	1,001	—	1,001

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額52百万円には、セグメント間取引消去33百万円及び棚卸資産の調整額18百万円が含まれております。

3. セグメント資産の調整額△7,080百万円は、セグメント間債権・債務の相殺消去等であります。

4. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	電子コンポーネ ント部門	制御デバイス部門	産業用PC部門	FAソリューション 部門	合計
外部顧客への売上高	82,617	34,834	7,964	14,165	139,581

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア (中国除く)	その他	合計
93,338	29,470	11,195	5,576	139,581

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

各顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	電子コンポーネント部門	制御デバイス部門	産業用PC部門	FAソリューション部門	合計
外部顧客への売上高	89,146	34,175	8,577	16,429	148,329

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア (中国除く)	その他	合計
103,152	27,356	12,036	5,784	148,329

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	その他	合計
2,025	281	2,306

3. 主要な顧客ごとの情報

各顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			計	全社・消去	合計
	日本	アジア	欧米			
当期償却額	64	—	—	64	—	64
当期末残高	582	—	—	582	—	582

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
1株当たり純資産額	3,235.39円	1株当たり純資産額	3,397.99円
1株当たり当期純利益	161.15円	1株当たり当期純利益	212.35円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,443	3,265
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,443	3,265
期中平均株式数 (千株)	15,162	15,378

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

役員の異動につきましては、2026年4月1日付「組織変更及び主要人事に関するお知らせ」にて既に発表済みであります。

(2) 仕入、受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当連結会計年度の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	94,045	116.2
アジア (百万円)	29,349	94.3
欧米 (百万円)	3,161	94.2
報告セグメント計 (百万円)	126,556	109.7
その他 (百万円)	612	107.3
合計 (百万円)	127,169	109.7

②受注状況

当連結会計年度の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	111,005	129.9	40,113	130.2
アジア	40,863	100.8	13,104	107.0
欧米	5,493	92.0	2,013	87.2
報告セグメント計	157,362	119.2	55,230	121.7
その他	780	85.8	275	85.0
合計	158,142	119.0	55,506	121.5

③販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	101,705	112.0
アジア (百万円)	40,005	94.6
欧米 (百万円)	5,788	102.8
報告セグメント計 (百万円)	147,499	106.3
その他 (百万円)	829	100.2
合計 (百万円)	148,329	106.3

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。